

2021年度 3Q決算

投資家様向け説明資料



2022年1月28日
オムロン株式会社

発表のポイント

■ 2021年度 3Q累計実績

- ・大幅増収増益。営業利益は過去最高。
- ・しかし、部材不足や物流の混乱といったサプライチェーンのマイナス影響が想定より拡大。
- ・2Q時点で想定していた部材を十分に確保できず、業績は社内見通しを下回る。

■ 2021年度 通期見通し

- ・サプライチェーンのマイナス影響が4Qも継続することを織り込み、通期見通しを下方修正。
- ・しかし、受注は継続して好調。通期見通しは大幅増収増益であり、営業利益は、過去最高を達成する見通し。
- ・年間配当予想は92円に据え置く。

■ 今後の成長機会

- ・オムロンは社会の変化によって生み出される成長機会にフォーカスし、すでに成長機会を捉え始めている。さらなる成長を実現できる。
- ・具体的な成長機会は、FA領域ではEV・デジタル・食品、ヘルスケア領域では、血圧計・遠隔診療サービス。

1. 2021年度 3Q累計実績	P. 3
-------------------------	------

2. 2021年度 通期見通し	P. 10
------------------------	-------

3. 今後の成長機会	P. 19
-------------------	-------

-参考資料-	P. 25
---------------	-------



2021年度 3Q累計実績

2021年度 3Q累計実績

大幅増収増益。営業利益は過去最高を達成。

(億円)

	2020年度 3Q累計実績	2021年度 3Q累計実績	前年同期比
売上高	4,696	5,586	+19.0%
売上総利益 (売上総利益率)	2,139 (45.6%)	2,564 (45.9%)	+19.8% (+0.3P)
営業利益 (営業利益率)	424 (9.0%)	669 (12.0%)	+57.5% (+2.9P)
当期純利益	339	448	+32.2%
米ドル 平均レート (円)	106.2	111.0	+4.8
ユーロ 平均レート (円)	121.8	130.8	+9.0
人民元 平均レート (円)	15.3	17.2	+1.9

セグメント別 売上高

制御機器事業、電子部品事業はグローバルの需要を捉えて大幅増収。
ヘルスケア事業は血圧計の需要が堅調。

(億円)

	2020年度 3Q累計実績	2021年度 3Q累計実績	前年同期比
制御機器事業 (I A B)	2,529	3,213	+27.1%
電子部品事業 (E M C)	618	785	+26.9%
社会システム事業 (S S B)	586	552	△5.8%
ヘルスケア事業 (H C B)	925	1,011	+9.3%
本社他 (消去調整含む)	37	25	△32.7%
合計	4,696	5,586	+19.0%

制御機器事業（IAB）エリア別 売上高成長率

売上高は全てのエリアにおいて前年から二桁以上の増収。受注も大幅に増加。

2021年度 3Q累計（4月-12月） 制御機器事業 エリア別 売上高成長率と受注増加率

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	
					韓国以外	韓国のみ
売上高成長率	+20%	+24%	+24%	+22%	+10%	+11%
受注増加率	+87%	+68%	+63%	+67%	+33%	+74%

※前年同期比、現地通貨ベース

セグメント別 営業利益

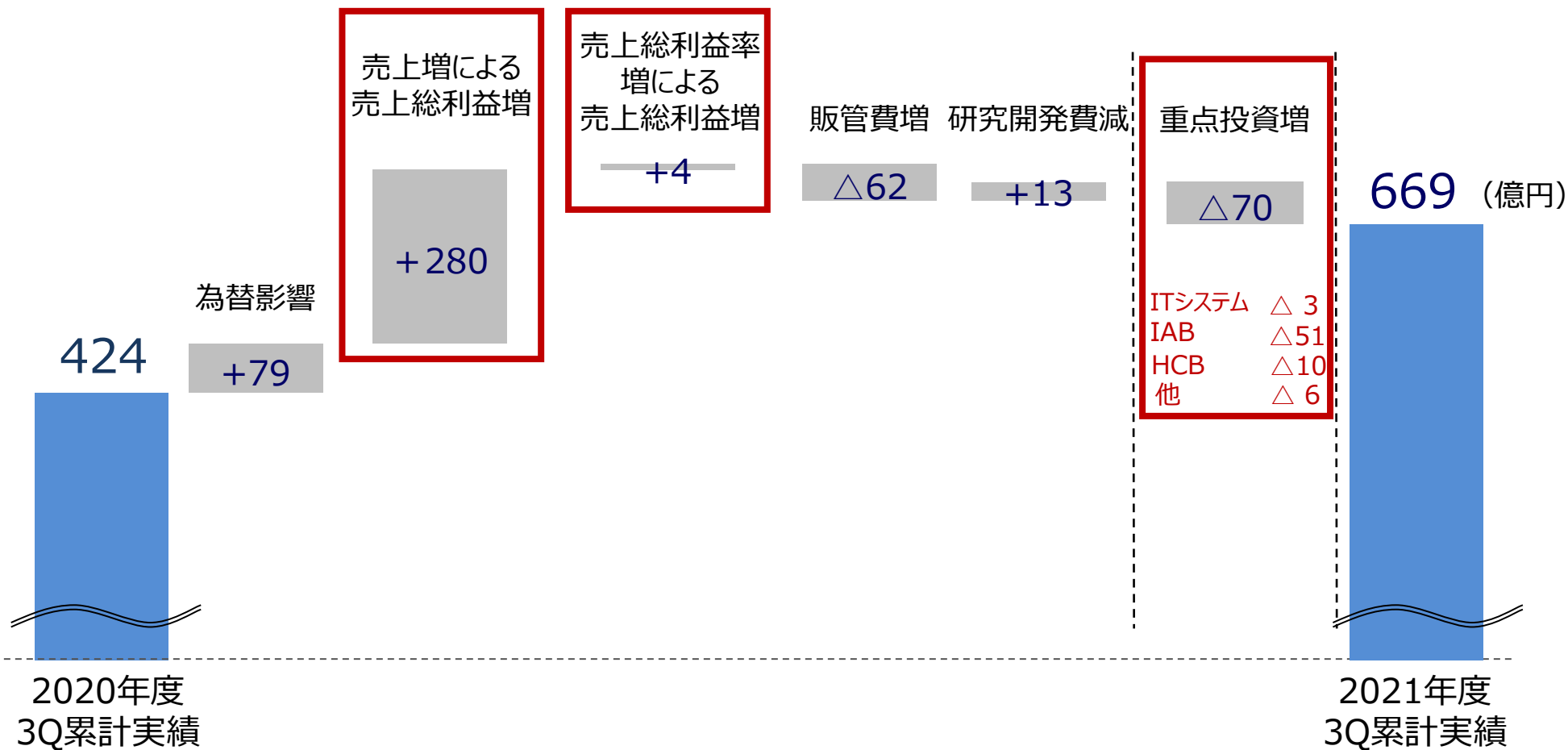
**制御機器事業、電子部品事業は大幅増益を達成。
ヘルスケア事業は物流混乱の影響もあり、減益。**

(億円、%：営業利益率)

	2020年度 3Q累計実績	2021年度 3Q累計実績	前年同期差
制御機器事業 (I A B)	419 (16.6%)	593 (18.5%)	+174 (+1.9P)
電子部品事業 (E M C)	15 (2.5%)	68 (8.7%)	+53 (+6.2P)
社会システム事業 (S S B)	△ 6 (-)	△ 9 (-)	△ 3 (-)
ヘルスケア事業 (H C B)	169 (18.3%)	162 (16.0%)	△ 7 (△2.3P)
本社他 (消去調整含む)	△ 173	△ 145	+28
合計	424 (9.0%)	669 (12.0%)	+245 (+2.9P)

営業利益増減（前年同期差）

収益力を高めた上で売上成長を実現し、売上総利益額が大幅に増加。
 将来の成長に向けた投資は着実に実行。



サプライチェーンの状況

**サプライチェーンの問題は継続しており、
前回見通しでは想定していなかった課題も発生。**

前回見通しからの変化

部材不足

- ・制御機器事業は、不足している部材の範囲が拡大し、調達量が見通しに届かなかった

部材価格高騰

- ・全ての事業で、部材単価の上昇や市販流通品の使用量増加による影響が拡大

物流遅延

- ・ヘルスケア事業は、コンテナ不足、北米での通関の遅延やドライバなどの人手不足の影響を受け、製品の物流リードタイムが大幅に長期化

物流費

- ・制御機器事業、電子部品事業、ヘルスケア事業で、航空便・船便の単価上昇や、航空便活用増加によりマイナス影響が拡大



2021年度 通期見通し



4Q見通し（1月-3月） 事業セグメント別 事業環境認識

制御機器事業を中心に堅調。前回見通しから大きな変化はない。**制御機器事業
（IAB）**

自動車： 脱炭素化に向けたEV関連投資が継続。

デジタル： 需要拡大が続く半導体投資/二次電池を中心に、高水準な投資が継続。

食品・日用品： 各国の経済活動再開に伴い、環境関連投資、自動化投資により堅調継続

社会インフラ： 調整局面にあった太陽光発電などのエネルギー投資再開により回復傾向。

**電子部品事業
（EMC）**

民生： 欧米を中心に需要継続。

車載： グローバルで緩やかな需要が継続。

**社会システム事業
（SSB）**

鉄道： 投資抑制の動きが継続。

交通： 堅調な更新需要が継続。

エネルギー： コロナ影響からの緩やかな回復基調継続。

**ヘルスケア事業
（HCB）**

血圧計： オンライン販売を含め、グローバルで需要は引き続き堅調。

その他： ネブライザはグローバル、低周波治療器は日本市場で回復基調継続。

体温計は想定以上に早いペースで、コロナ前の水準に戻る。

2021年度 通期見通し

**サプライチェーンのマイナス影響を織り込み、通期見通しを修正。
前年比では大幅な増収増益を見通す。過去最高益の見通し。**

(億円)

	2021年度 期初計画	2021年度 前回見通し	2021年度 今回見通し	前回見通し比・差	2020年度 実績	前年度比・差
売上高	7,000	7,800	7,600	△2.6%	6,555	+15.9%
売上総利益 (売上総利益率)	3,250 (46.4%)	3,610 (46.3%)	3,470 (45.7%)	△3.9% (△0.6P)	2,984 (45.5%)	+16.3% (+0.1P)
営業利益 (営業利益率)	700 (10.0%)	980 (12.6%)	880 (11.6%)	△10.2% (△1.0P)	625 (9.5%)	+40.8% (+2.0P)
当期純利益	480	655	570	△13.0%	433	+31.6%
米ドル 平均レート (円)	108.0	108.9	111.5	+2.5	105.8	+5.7
ユーロ 平均レート (円)	128.0	129.5	130.6	+1.1	123.2	+7.5
人民元 平均レート (円)	16.5	16.7	17.4	+0.6	15.5	+1.8

2021年度 セグメント別 売上高

**制御機器事業、社会システム事業、ヘルスケア事業で見通しを修正。
制御機器事業とヘルスケア事業は、過去最高の売上を見通す。**

(億円)

	2021年度 期初計画	2021年度 前回見通し	2021年度 今回見通し	前回見通し比	2020年度 実績	前年度比
制御機器事業 (IAB)	3,750	4,430	4,300	△2.9%	3,464	+24.1%
電子部品事業 (EMC)	940	1,030	1,030	-	860	+19.7%
社会システム事業 (SSB)	960	920	900	△2.2%	957	△5.9%
ヘルスケア事業 (HCB)	1,330	1,400	1,340	△4.3%	1,231	+8.9%
本社他 (消去調整含む)	20	20	30	-	43	△30.3%
合計	7,000	7,800	7,600	△2.6%	6,555	+15.9%

2021年度 セグメント別 営業利益

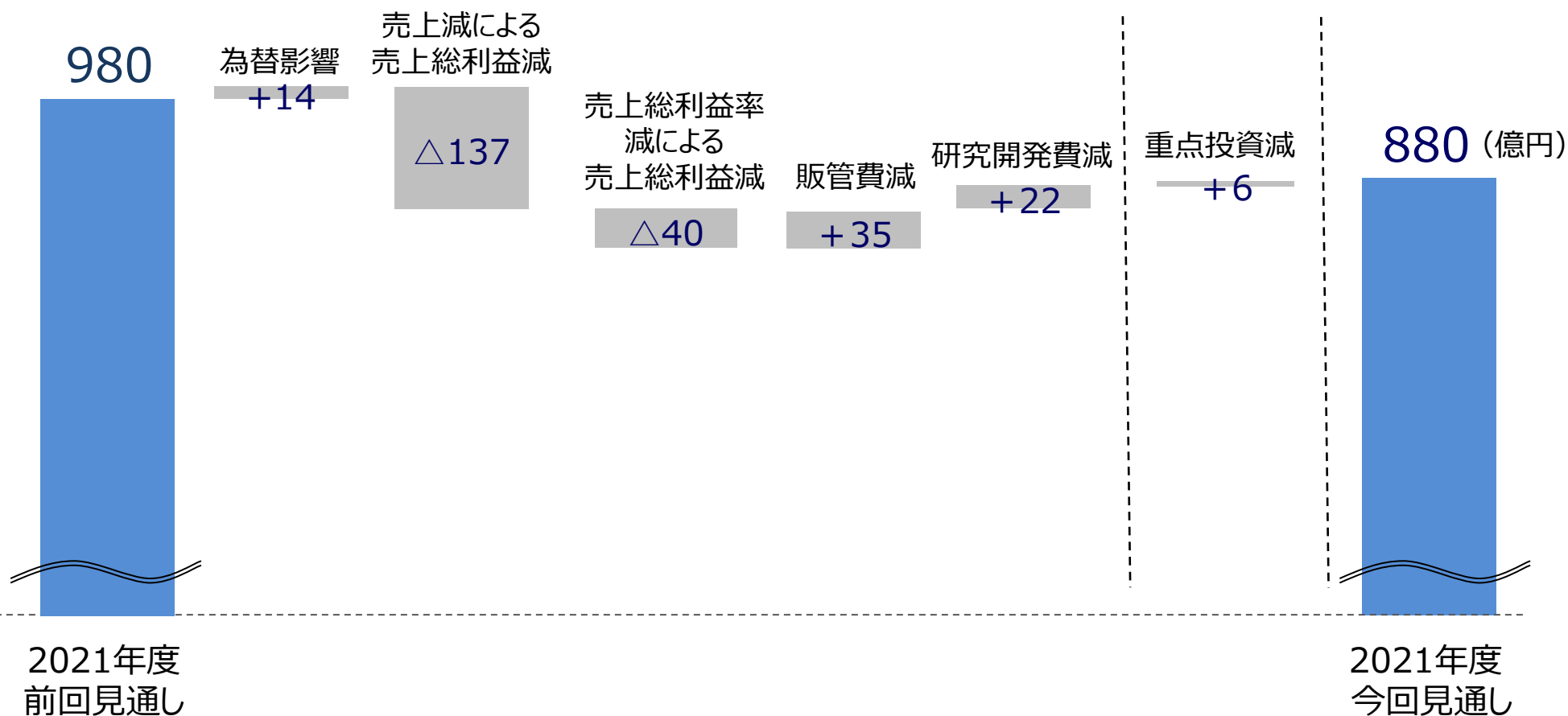
**制御機器事業、社会システム事業、ヘルスケア事業は、
売上見通しの引き下げに伴い見通しを修正。**

(億円、%：営業利益率)

	2021年度 期初計画	2021年度 前回見通し	2021年度 今回見通し	前回見通し差	2020年度 実績	前年度差
制御機器事業 (IAB)	630 (16.8%)	870 (19.6%)	790 (18.4%)	△80 (△1.3P)	588 (17.0%)	+202 (+1.4P)
電子部品事業 (EMC)	45 (4.8%)	75 (7.3%)	80 (7.8%)	+5 (+0.5P)	30 (3.4%)	+50 (+4.3P)
社会システム事業 (SSB)	70 (7.3%)	70 (7.6%)	65 (7.2%)	△5 (△0.4P)	57 (6.0%)	+8 (+1.3P)
ヘルスケア事業 (HCB)	225 (16.9%)	225 (16.1%)	195 (14.6%)	△30 (△1.5P)	206 (16.7%)	△11 (△2.2P)
本社他 (消去調整含む)	△ 270	△ 260	△ 250	+10	△ 255	+5
合計	700 (10.0%)	980 (12.6%)	880 (11.6%)	△100 (△1.0P)	625 (9.5%)	+255 (+2.0P)

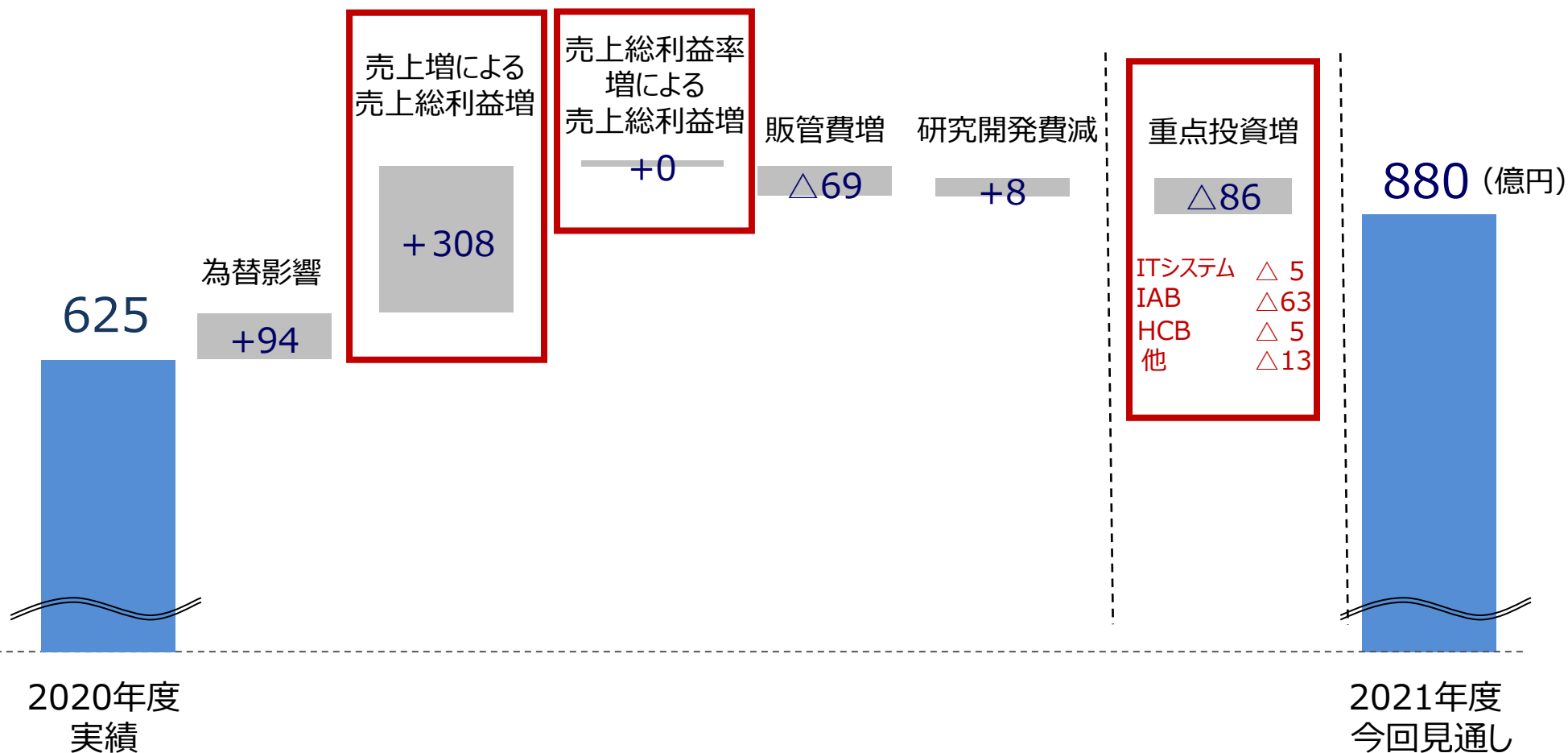
営業利益増減（見通し差）

部材不足などによる売上減、および部材費・物流費の高騰による
売上総利益率減の影響を織り込む。



営業利益増減（前年度差）

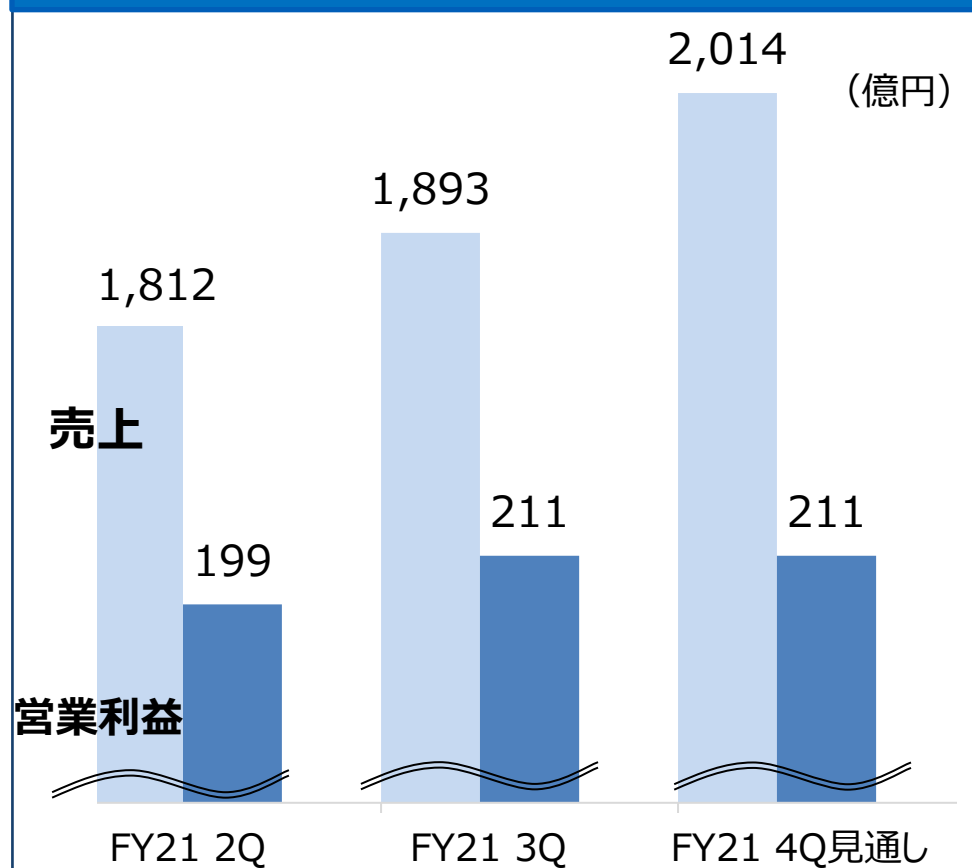
売上の大幅増により、前年比では大幅増益を見込む。
 将来の成長に向けた投資は着実に実行。



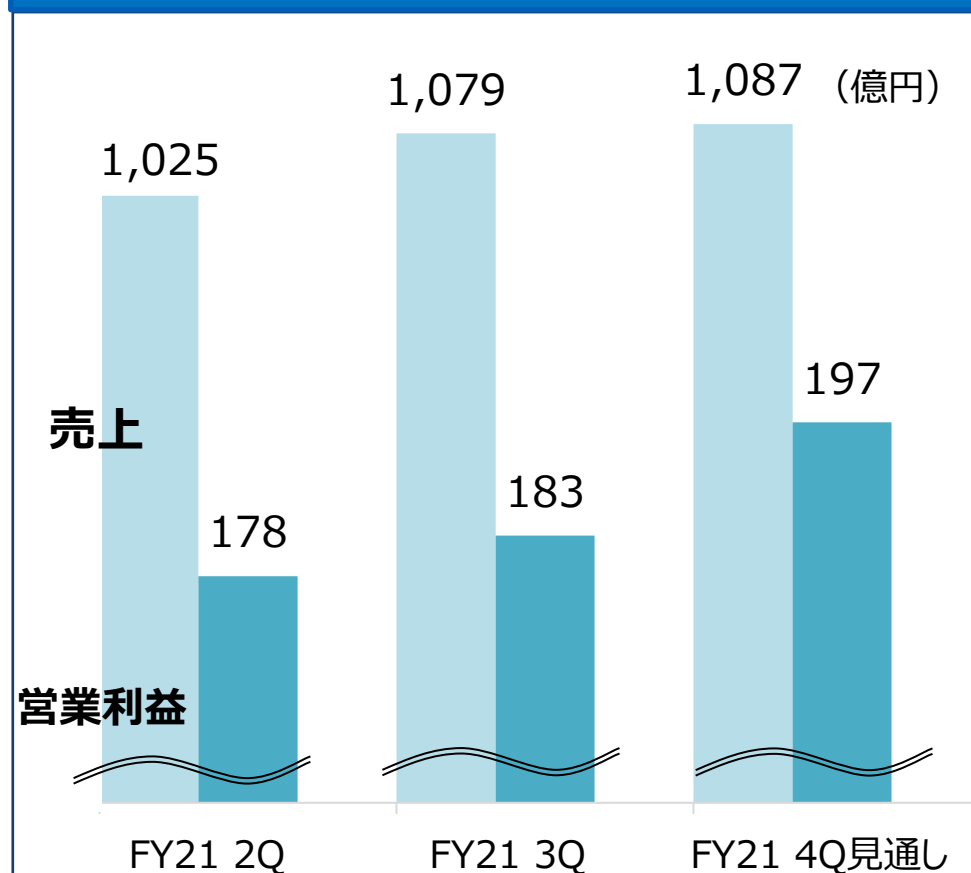
全社・制御機器事業の四半期業績推移

2Q以降、全社・制御機器事業は、四半期ごとに着実に業績を伸ばし続けている。
部材の調達状況が改善すれば、さらに業績拡大が可能。

全社

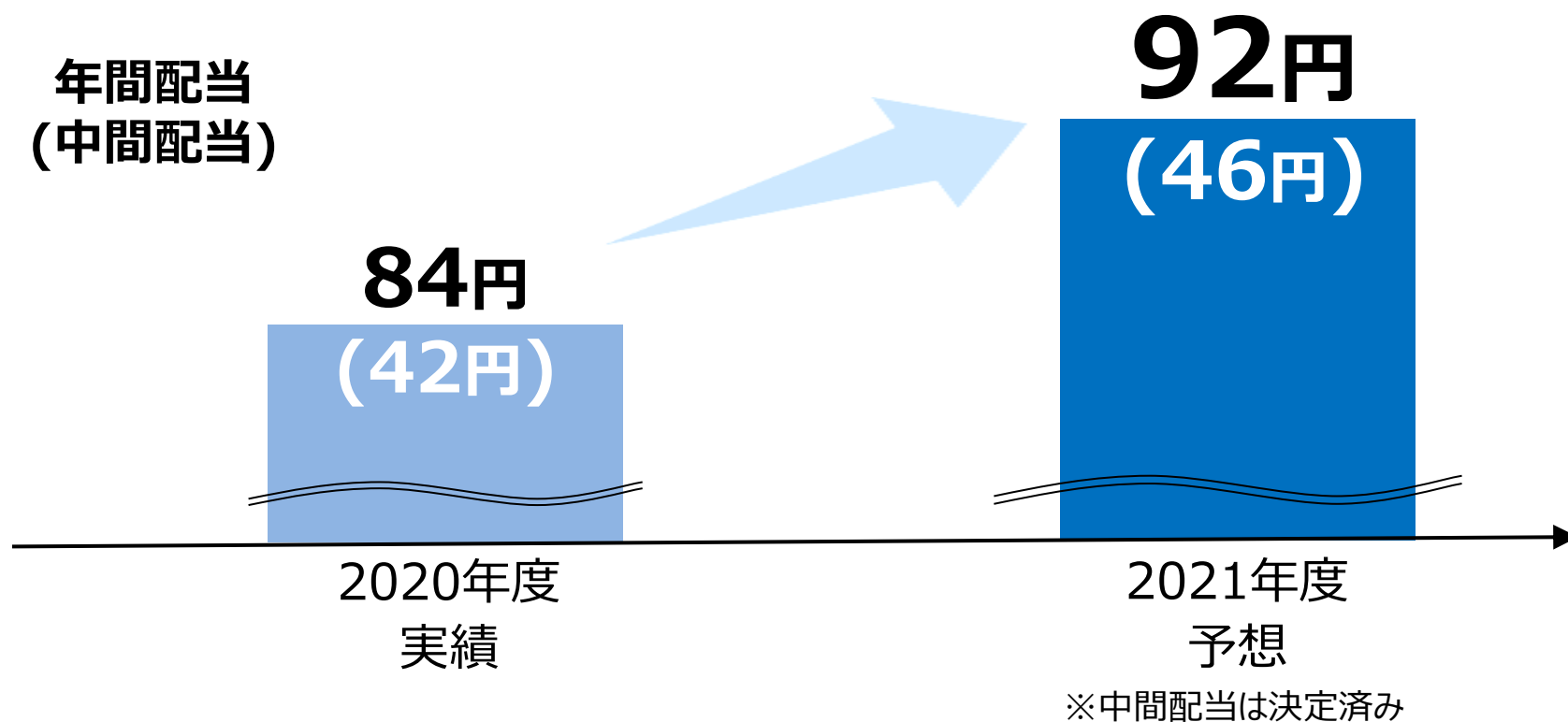


制御機器事業



株主還元

年間配当予想は、2Qで増配を発表した92円を据え置く。前年からは8円の増配。
自己株式取得（300億円、263万株）は、12月に完了。





今後の成長機会

今後の成長機会

オムロンは社会変化によって顕在化している成長機会にフォーカスしている。

フォーカスしている市場では今後も旺盛な需要や投資が継続する。

この成長機会のチャンスは、すでに捉え始めており、今後、生まれるニーズをさらに捉えることで、さらなる成長を実現する。

制御機器事業（IAB）の高成長を実現するドライバー

社会要請による環境負荷低減や、コロナと需要急拡大によって顕在化した生産現場の自動化に向けた投資が活発な高成長領域で成長を実現する。

社会変化

GHG、廃棄ロス削減など
環境負荷低減



人に頼りすぎてきた
生産現場の自動化

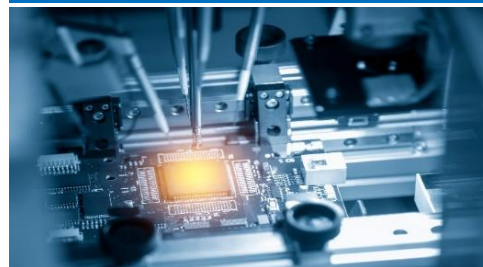


社会変化によって生み出される成長機会

EV車の
エネルギー高効率化



世界的な半導体製造
能力増強と超微細化



脱プラスチックに向けた
包装材の進化



ヘルスケア事業（HCB）の高成長を実現するドライバー

人々の健康意識の変化と新たな生活様式から生まれるニーズを捉えて、高成長を実現する。

社会変化

予防意識の高まり



生活様式の変化

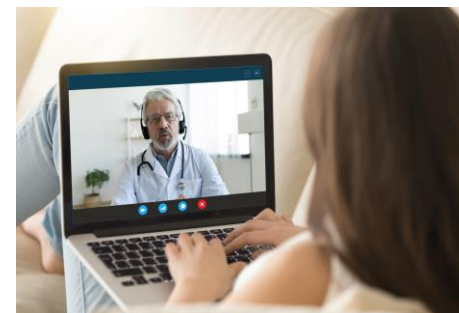


社会変化によって生み出される成長機会

新興国を中心とする
血圧計事業拡大



遠隔診療サービスの
加速



次期長期ビジョン

および中期経営計画 説明会

日程：2022年3月上旬

方式：リモートにて実施予定

OMRON



参考資料

株主還元方針

利益配分の優先順位は、①将来の成長に向けた投資、②配当、③自己株式取得

将来の成長に に向けた投資

FA、ヘルスケアを中心に、成長投資(M&A)、研究開発費、設備投資に振り向ける

配当

年間配当は配当性向30%程度、DOE3%程度を目安として決定する

自己株式取得

長期にわたり留保された余剰資金は、機動的に自己株式の取得を実施

連結貸借対照表

(億円)

	2021年3月末	2021年12月末	前年度末差
流動資産	5,144	5,321	+177
(現金及び現金同等物)	(2,508)	(2,352)	(△155)
(たな卸資産)	(1,033)	(1,331)	(+299)
有形固定資産	1,130	1,147	+17
投資その他の資産	1,929	1,948	+19
資産の部合計	8,204	8,416	+213
流動負債	1,614	1,633	+20
固定負債	497	442	△54
負債の部合計	2,110	2,075	△35
株主資本	6,069	6,315	+247
非支配持分	25	26	+1
純資産の部合計	6,094	6,341	+248
負債及び純資産合計	8,204	8,416	+213
株主資本比率	74.0%	75.0%	+1.0P

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2020年度 3Q累計実績	2021年度 3Q累計実績	前年同期差
営業活動によるキャッシュ・フロー (営業CF)	626	473	△153
投資活動によるキャッシュ・フロー (投資CF)	△177	△240	△63
フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	450	233	△216
財務活動によるキャッシュ・フロー (財務CF)	△204	△496	△292
期末の現金残高	2,114	2,352	+238
設備投資	133	207	+74
減価償却費	172	174	+2

2021年度 為替前提

	2021年度 4Q為替前提	1円変動による影響額（通期） *人民元は0.1円変動の影響額	
		売上高	営業利益
米ドル	113円	約17億円	約2億円
ユーロ	130円	約9億円	約4億円
人民元	17.8円	約8億円	約2億円

※ 新興国通貨などが、主要通貨に想定通り連動しなかった場合、感応度に影響を与えます。

主要ESGインデックスへの組み入れ (2022年1月現在)

<オムロンが選定されているESGインデックス>

- ✓ DJSI – World
- ✓ FTSE4Good Index Series
- ✓ MSCI ESG Leaders Indexes
- ✓ MSCI SRI Indexes
- ✓ STOXX Global ESG Leaders Indices
- ✓ FTSE Blossom Japan Index
- ✓ MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
- ✓ MSCI 日本株 女性活躍指数
- ✓ S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数

5年連続選定

6年連続選定

7年連続選定

5年連続選定

6年連続選定

5年連続選定

5年連続選定

5年連続選定

4年連続選定

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA



FTSE4Good



THE INCLUSION OF OMRON CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF OMRON CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.



2021 CONSTITUENT MSCI JAPAN
ESG SELECT LEADERS INDEX

THE INCLUSION OF OMRON CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF OMRON CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.



FTSE Blossom
Japan

2021 CONSTITUENT MSCI JAPAN
EMPOWERING WOMEN INDEX (WIN)

THE INCLUSION OF OMRON CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF OMRON CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.



*オムロンでは、CDP気候変動・水に関する調査を含むESG評価機関による調査など、多くの外部からの調査に協力し、情報を開示しています。
2021年度評価：気候変動「A-」、水セキュリティ「A-」

社外からの評価 (2022年1月現在)

<ESG関連表彰・銘柄選定>

S&Pグローバル社選定

- ✓ S&P サステナビリティアワード ゴールドクラス **初選定**

Sustainability Award
Gold Class 2021

S&P Global

一般社団法人 日本取締役協会 主催

- ✓ コーポレート・ガバナンス・オブ・ザ・イヤー2018 経済産業大臣賞 **2018年度受賞**



環境省 主催

- ✓ 平成30年度 地球温暖化防止活動大臣表彰 「対策活動実践・普及部門」を受賞 **2018年度受賞**



日本経済新聞社 主催

- ✓ 日経SDGs経営大賞 「SDGs戦略・経済価値賞」を受賞 **2019年12月受賞**

経済産業省・東京証券取引所 選定

- ✓ 企業価値向上表彰 大賞
- ✓ なでしこ銘柄
- ✓ 健康経営銘柄
- ✓ 健康経営優良法人～ホワイト500～

2014年度受賞

2017年度より4年連続選定

2018年度より3年連続選定

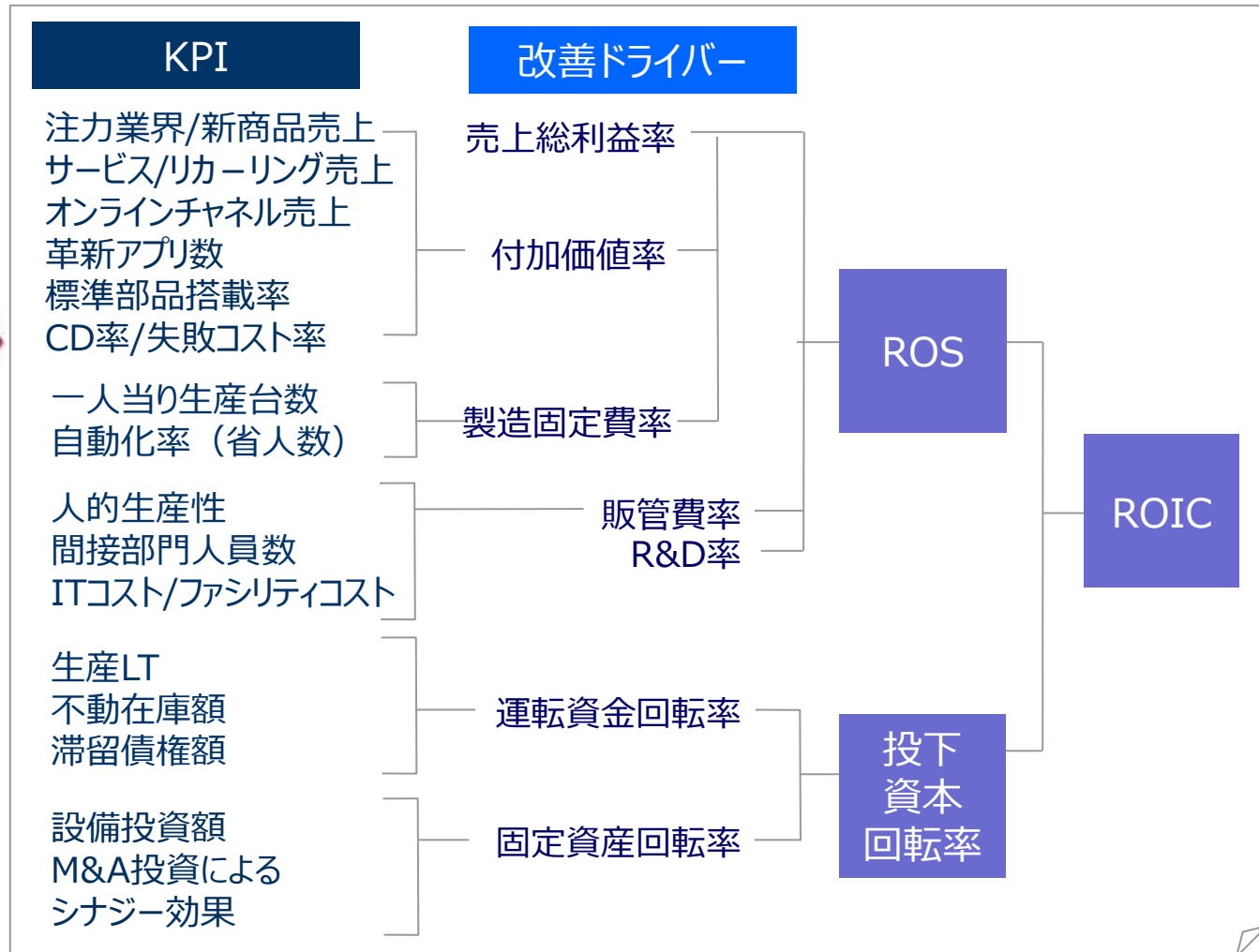
2016年度より5年連続選定



日本経済新聞社 選定

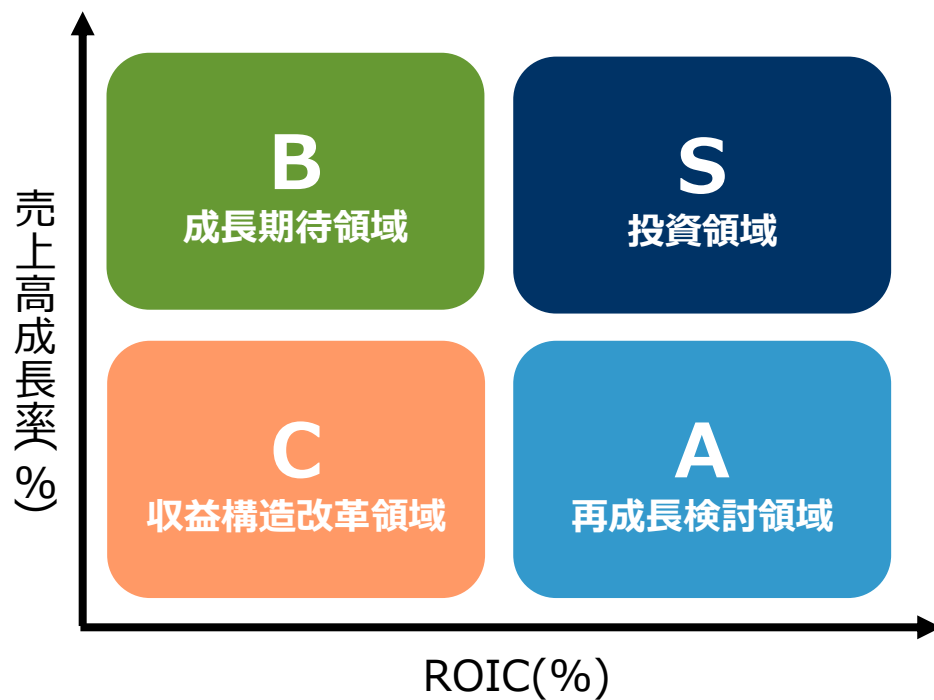
- ✓ 日経225 **2019年3月 初選定**

ROIC逆ツリー展開 (2.0)

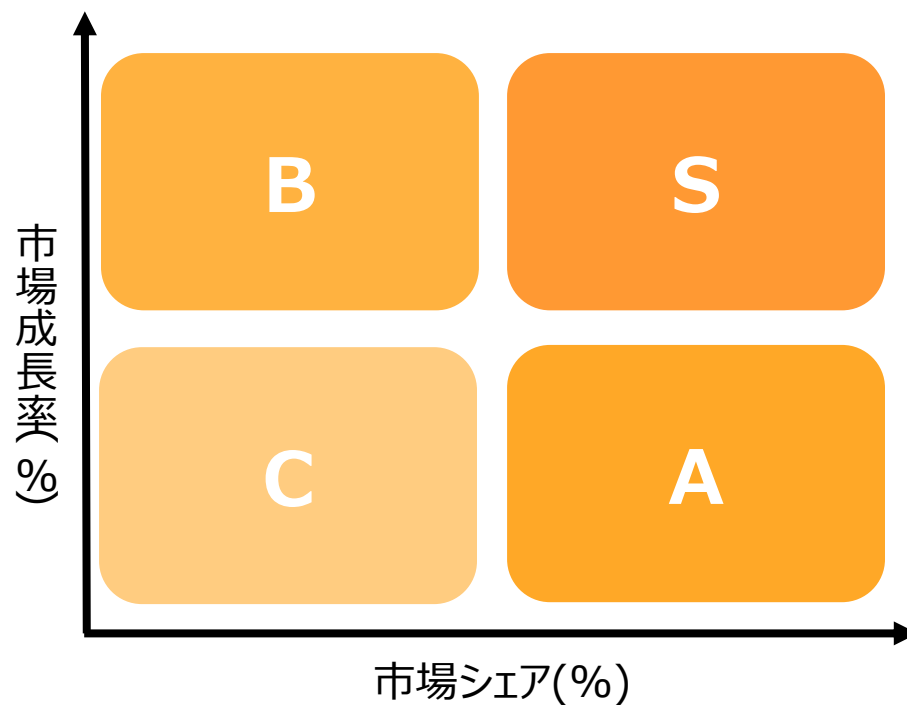


事業ポートフォリオマネジメント

経済価値評価



市場価値評価



ROIC計算式

<連結貸借対照表>

科目	年 月 末
資産の部	
流動資産	
…	
…	
有形固定資産	
…	
投資その他の資産	
…	
負債の部	
流動負債	
短期債務	
…	
…	
…	
純資産の部	
株主資本	
…	
…	
…	
純資産の部合計	
負債及び純資産合計	

当社株主に帰属する
当期純利益

ROIC =

投下資本

投下資本 = 純資産 + 有利子負債

※投下資本は、前年度末実績および当年度の各四半期毎の実績または見通しを平均して算出。

2021～2024年度の想定資本コスト : 5.5%

<注意事項>

1. 当社の連結決算は米国会計基準を採用しています。
2. 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。
3. 当資料は「2022年3月期 第3四半期 決算短信」に準拠し作成しています。
差額、比率については百万円単位で計算し、四捨五入しています。

< I R に関するお問い合わせ >

オムロン株式会社

グローバルインベスター & ブランドコミュニケーション本部 IR部

電話 : 03-6718-3421

E-mail : omron-ir@omron.com

Webサイト : www.omron.com/jp/ja/